

五月人形めぐりと天神飾り

湯浅まちなみの会では、5月6日まで五月人形めぐりを開催しています。今回は、「湯浅まちなみ ひなめぐり」と同様に、駅前から伝建地区までの町内21ヶ所の施設や個人宅で五月人形が展示され、甚風呂の東庭では、こいのぼりが春の風を受けて元気に泳いでいました。

また、甚風呂や岡正では、天神飾りの展示もあわせて行われました。昨年度のイベントを行ってきた重伝建10周年実行委員会の最後の取り組みとして、天神飾りについてまとめた冊子やパンフレットを作成し、配布しています。天神飾りの冊子は、地区内各戸にお配りいたしますので、ぜひご覧ください。



あじさいオープンガーデン

昨年に引き続いて、甚風呂を中心に、あじさいオープンガーデンを開園します。今年は、湯浅まちなみの会が、このオープンガーデンを含めた「あじさいめぐり」を企画しています。

開催時期は、あじさいの開花にあわせて6月中旬～7月上旬ごろの予定です。詳細はポスター等にてお知らせします。



トピックス

前田 和昭 前・伝建推進室長（産業観光課副課長）が、4月の人事異動で、まちづくり企画課長になりました。12年間、伝建の担当として携わってこられました。長い間、本当にお疲れ様でした。今後ともよろしくお願いします。



【伝建推進係より】

4月からは、以下の2名で担当します。みなさんと一緒に伝建地区をより良いものにしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

産業観光課 伝建推進係

山 本 隆 重 （やまもと たかしげ）

林 賢 太 郎 （はやし けんたろう）

湯浅伝建地区保存協議会

まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思ひます。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

■ホームページ <http://www.eonet.ne.jp/~denken-yuasa>

編集委員

楠山 吉雄

半邊 宗五

妻木 良三

道津 節子

まちなみ瓦版

■平成29年 5月 1日

■第 33 号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者：木下 智之

平成28年度 視察研修

三重県 亀山市関宿伝建地区を視察！



3月29日（水）、毎年恒例となっている湯浅伝建地区保存協議会の先進地視察研修は、三重県亀山市の関宿伝統的建造物群保存地区に行ってきました。関宿伝建地区へは、湯浅が重伝建に選定された平成18年に訪れて以来、2度目の訪問となります。重伝建選定10年を過ぎた私たちにとって、30年以上前に重伝建となっている関宿は大先輩の地区です。視察研修では、『NPO東海道関宿』の清水理

事長をはじめとした住民団体の方々とも交流をはかり、伝建地区を守っていくうえでの苦労話やアドバイスを聞かせていただくことができました。

【意見交換会まとめ】

■『NPO東海道関宿』は、住民の保存団体として、広報誌の発行や月1回の公開講座の開催などを行い、行政と連携しながら町並み保存を行っている。保存会は個人からの会費で運営している。

■関宿では「生活をしながらの保存」をテーマに無理なく保存活動を進めてきた。

■世代交代に関して、少子高齢化にどう対応するかが大きな課題。子の世代が都会に出て行っている中で、連休等に里帰りする孫に対して関宿の良さを教えることも大事ではないか。

■40数軒の空き家が存在している。移住希望もあるが、都会に出た人たちが帰ってくる家がなくなるというのも問題。いずれにしても放置せずに手を入れて町並みを整備する必要がある。



関宿伝建地区 視察研修参加者の感想

木下)『NPO東海道関宿』の理事長は非常にパワフルで力をもらった。世代交代については自分たちも考えていかなくてはいけない。地元のマンパワー、特に若い世代に声をかけて保存協議会の活動に参加してもらえるようにしていきたい。

半邊)30年繋いできたということは大変なことだと思った。湯浅にもお客さんが来る場所があと2、3ヶ所あればいいなと感じた。

太田)30年前に訪れたことがあるが、その頃とは全然違った。湯浅もあと20年は頑張らないといけな。電柱云々という話もあるが、電柱があったほうが生活感があっていいという意見もある。

三橋)道路に着目して歩いたが、湯浅の人は交通マナーが悪いのかなとも感じた。関宿の道路の舗装は滑りにくそうよかった。

楠山)高齢だから、お金がないから、ではなく行動しないとダメだという理事長の言葉に感動した。生活に密着しているという部分で湯浅と似ているなと感じた。

道津)車庫を開けると観光客が一斉に覗き込んでくる、という話を聞いたが、そういった悩みも一緒なのだなと感じた。

竹田)美容室や喫茶店も同じような外観になっていて、それはそれで不便ではないかなと感じた。

吉本)自分の家の前は県道だが、電柱があって車が通りにくい。そういった意味でも無電柱化はいいなと感じた。

生田)写真が好きな人にとって、電線がないというのは大きな魅力。湯浅もぜひそうなってもらいたい。

黒川)関の人たちが組織の管理に苦労していることがわかった。湯浅の保存協議会の人たちの努力に敬意を表したい。

和泉)綺麗すぎるかなと思った。電柱がないとか、道路を土道のようにするというのはいいと思う。全体の印象として湯浅の方がいいと感じた。

根来)理事長が元の町長ということで、行政をわかる人が絡んでいるのは心強いと感じた。

守屋)出来るだけお金をかけずに、賑わいが出るようなイベントをしていきたい。

山本)旅人が行き交う中、看板の表裏で字体を変えることで方向を示しているという話を聞いた。そのおもてなしの心は、甚風呂スタッフとして感銘を受けた。

炭原)甚風呂スタッフとして初めて参加した。また来年も参加したい。

丸山)行く前に色々と調べたが一見に如かずで訪れるとより多くのことが実感できた。



平成28年度の保存修理事業が実施されました

平成28年度の保存修理事業は5件実施されました。修理工事では、伝統的な外観を維持・復原するために、古くなって傷んだ部分や改変されていた箇所を修理しました。工事内容を紹介しますので、建物の改修などを検討されている方は、参考にしてください。

※復原…原状に復するということ意味です。	木下家住宅主屋修理工事（その2）（北中町） 工事前 工事後 【工事内容】 ・屋根瓦の葺替え ・外壁の漆喰塗り（一部は前年度に実施済み） ・シロアリ対策
工事前	岩寄家住宅主屋修理工事（北中町） 工事前 工事後 【工事内容】 ・屋根瓦の葺替え ・外壁のトタンを撤去し、板張り及び漆喰塗りに復原（※） ・前面に張り出していた出窓を、痕跡に基づいて掃出し窓に復原 ・周辺の類例に倣い格子の木製建具を設置
工事前	油谷家住宅主屋修理工事（北浜町） 工事前 工事後 【工事内容】 ・現行の改造前の状態に外観を復原（全面を建具に） ・屋根瓦の葺替えと、外壁の漆喰塗り及び板張り ・耐力壁の設置や部材の補強による建物の強化
工事前	楠山鮮魚店主屋修理工事（北町） 工事前 工事後 【工事内容】 ・柱や母屋などの主要な構造部材の取替えや補修 ・雨戸や幕板の修繕 ・屋根瓦の葺替え（庇部分は桧瓦葺から本瓦葺へ） ・外壁のトタンを撤去し、漆喰塗り及び板張りに復原
工事前	塩路家住宅主屋修理工事（北町） 工事前 工事後 【工事内容】 ・落下の危険性が高まっていた屋根瓦を葺替え ・外壁のトタンを撤去し板張りに復原 ・樋・金物の取替え